

## 一般質問通告書

受領日時 令和8年5月27日 午前 5時 52分 1番 氏名 石井 和歌子

質問項目	質問の要旨
1 空き家について話し合う機会の創出について	<p>(1) 当町だけではなく全国的に、空き家の老朽化による倒壊の危険や野生動物の隠れ家になるなど生活環境への影響が増加している。空き家は所有者の個人的な問題とされがちだが、放置されると地域全体の問題になることから、空き家所有者が孤立しないよう早い段階で手を打つ必要があると考える。空き家バンクの登録件数も増えてきているが、さらなる登録件数の増加につながるよう所有者や所有者予備軍・経験者、町や専門家を交え、空き家の関係者が気軽に意見を言い合える場を設けることが必要ではないか。町としてどう考えるか。</p> <p>(2) 帰省の時期やイベント会場での開催、リモート会議形式や実際に来場できるよう交通費を半額補助するなど遠方の所有者にも参加しやすい仕組みにし、さらに互いの家の見学ツアーを組むなど一歩踏み込んだ内容にもできないかと考えるが町としてどう捉えるか。</p>
2 関係人口の増加への取り組みについて	<p>(1) 「関係人口を増やす」ことが大事になっている現在だが、五城目町以外の住民の人との交流だけでなく、五城目町在住者同士の交流も活発になることで新たな発見がもたらされるのではないかと考える。各地区公民館や体育施設、各コミュニティ施設の利用者グループ、各サロンなど相互で交流会を開き、人間関係の再構築を促すことも必要と考えるが町としてどう考えるか。</p> <p>(2) 地域おこし協力隊や集落支援員に外国人材を常に登用するなど、全世界とのつながりを意識した関係人口の増やし方を模索してはどうか。町としてどう考えるか。</p>
3 デジタル弱者の救済について	<p>(1) スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器、およびインターネットを使いこなせないデジタル弱者への救済措置としてスマホ教室などがあるが、当町のスマホ教室の参加率はどうなっているか。</p>